授業科目名	特例・保育指導法	単位数	1単位
担当教員名	樫永　卓三	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	本科目は現場に則した学修内容であり、現場経験のある教員が、実践的な視点で指導する。		

「学位授与の方針」との関係

該当なし

授業のテーマ及び到達目標

①幼稚園教育における遊びと学びの関連性や重要性について具体例を基に説明できる。
②領域「表現」のねらいと内容について説明できる。
③「乳幼児期の表現の発達」「保育者の援助の基本」「幼児期の表現の実際」を柱にして、幼児期の表現に対する保育者の援助の在り方について具体的に説明できる。
④「豊かな感性や表現する力」「豊かな創造性」を育むための幼稚園教育の保育内容の指導法について説明できる。

授業の概要

幼稚園教育要領における領域「表現」のねらいと内容について理解し、乳幼児期の表現に関する発達について学修するとともに、幼児期の表現に対する保育者の援助の基本的な考え方や、遊びが学びに結び付いていくための具体的な指導法について考究する。また、アクティブラーニングの手法も用いて実施。

授業計画

第１回：幼児教育の基本
第２回：領域「表現」のねらいと内容
第３回：幼児教育における遊びの意義
第４回：乳幼児期から児童期までの遊びと学びの関連性
第５回：表現の発達の特徴
第６回：表現の発達の特性と個人差
第７回：子どもの感性
第８回：子どもの表現意欲と表現力
第９回：創造性を豊かにするための指導の在り方
第１０回：表現に関する指導
第１１回：遊びを通した総合的な学び
第１２回：遊びを援助するための環境づくり
第１３回：用具や素材の特性
第１４回：表現活動を促す環境構成
第１５回：年齢に応じた援助の在り方
科目修得試験

スクーリングでの学修

幼児教育の基本と表現の特性・ねらいを理解し、表現と発達の特性に応じた指導の在り方の習得を目指す。また、感性を育む指導と援助の在り方についてアクティブラーニングの手法を取り入れ具体的な指導法を探る。

テキスト

文部科学省「幼稚園教育要領　平成29年告示」　フレーベル館 978-4577814222
文部科学省「幼稚園教育要領解説　平成30年3月」 フレーベル館 978-4577814475

参考書・参考資料等

特になし

学生に対する評価

スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）